

学校名 川口市立原町学校
所在地 川口市飯原町6丁目50番
電話 048-252-4761

1 本校の概要

本校は、児童 399 名、「知・徳・体の調和がとれた笑顔あふれる原町小学校」～原町小学校でよかったと児童・教職員・保護者が誇りをもち、地域に愛される学校づくり～を目指す学校像として取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 分類別・教科書紹介本を学年で分けて配架

休校中で児童が学校図書館を使用しない合間に、本の配架をNDCで分け、さらに、新しい教科書で使用する本を学年別に分けて配架し、授業に使う本が一目でわかる工夫をした。

(2) 全学年へのオリエンテーション

学校図書館の意義、利用方法、NDCで本を探す方法など、読み聞かせを交えて学校図書館司書が全学年へクラスごとに行った。

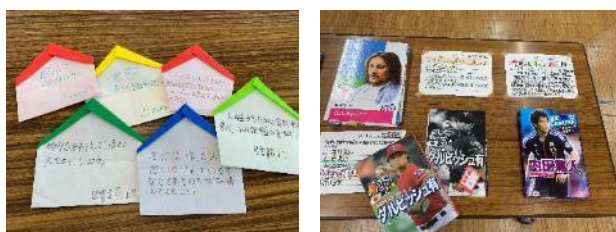
(3) 図書委員会活動とボランティアとの連携

学校図書館における季節の掲示物を図書委員とボランティアが協働して、作り上げた。図書委員以外の児童からも積極的参加があった。



(4) 3・4年「学校図書館の使い方」「ポプラディアの使い方」授業

国語科の単元に合わせて、授業を学校図書館司書がサポートして行い、学校図書館への興味、協力、調べ学習への意欲向上につなげた。



(5) SDGs についての選書及び資料の掲示

常に児童の目に触れるところへ掲示を行い、本についてはポップをつけて、日常の中でSDGsを感じられる環境を保っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

全学年へのオリエンテーションを通じて、児童が学校図書館に足を運ぶ機会が増えた。そして、掲示の工夫により、それまで本を読まなかった児童が本を手にする機会ができた。また、学校図書館司書の勤務日とボランティアの活動日を同日にすることにより、掲示・電子化作業の効率が飛躍的に上がっている。

(2) 課題

電子化導入に伴い、3学期から、まず、6年生の貸出で試運転を行っており、順調に進んでいる。今後は、全学年で、電子化による貸出を順に行っていく。蔵書全てのデータを取り込み、正確な蔵書の分類別の割合を出し、今後は、バランスの良い選書に役立てたい。また、児童の読書意欲につながるようなデータの活用について探求していく。

さらに、児童の学校図書館への興味が高まっているため、館内に「アクティブラーニングコーナー」を作り、掲示や調べ学習の自学につなげたい。学校図書館が「読書センター」の機能だけでなく、「学習・情報センター」としての機能を果たすように教員、学校図書館司書、ボランティアと連携をさらに深めていく。

(3) おわりに

本年度は、コロナウイルス対策を含め、例年とは違う形での学校図書館運営を行うこととなった。しかし、そのような中でも、児童は、学校図書館を訪れ、本と親しみ、掲示に季節を感じ、心安らぐ場となっていたのではないかと感じている。今後も子供たちの「学校図書館大好き！」という気持ちを育てていける学校図書館経営ができるよう努力していきたい。